

授業者	小笠原悟志	日時・指導学級	11月28日(水) 6時間目 3年1・3組
教科	総合的な学習	単元	社会とのつながりを考え、よりよい地域へ

【授業の目標】

- ・地元商店の広告を発表し、他の町の良さも知り、明祥中学区の良さを再確認する。
- ・他の町の課題を自分の町の良さとしらし合わせ、比較し合いながら解決案を班で話し合いながら考えることができる。

【授業の工夫】

- ・ホワイトボードに町の良さをキーワードを書いて黒板に掲示し、いつでも確認できるようにする。

【授業の様子・生徒の変容】

- ・自分たちが取材し、まとめたものに補足情報を加えたり、ユーモアを交えたりしながら発表することができた。
- ・各町内の良さと課題をざっくばらんに話すなかで、当たり前だと感じていた東端町の夜間パトロールがすごいことであったことを再認識する生徒や城ヶ入町にも取り入れていきたいと感じる生徒がいた。他の町の良さを知る良いきっかけとなっていた。

【教師の振り返り】

- ・各町の良さを発表することで、自分たちの地域に誇りをもつことができ、また、他の町の良さを取り入れたいと思う生徒が多かったのが良かった。
- ・班で各自が調べてきたことを発表し、意見をまとめる際に班の裁量に任せず、「一通り全員が発表したのち、班で話し合って1つにする」などの指示をするとより良い意見が出たと思う。
- ・黒板に貼り付けた各町の良さと課題を教師が意図的に取り上げたが、「どれに関心をもった」や「これとこれってどんな関係なの」と生徒に課題意識をもたせる発問をするとより関心をもった話し合いになったと思う。



となりの町の良さを知る



それいいな。いつかやってみようかな。



社会に役立つ=利他共生